

2025 年 10 月 3 日

第 37 回新しい資本主義実現会議における意見

～これまでの振り返りと今後の期待～

塩野義製薬株式会社 副会長

関西経済連合会 副会長

澤田 拓子

■経済社会における望ましい方向性の定着

- ・賃金引き上げと適度な物価上昇の好循環
- ・企業における中長期的な視点に立った研究開発や設備投資、および株主に偏ることのない幅広いステークホルダーへの適正な分配の進展
 - ➡収益力向上に資する研究開発や設備投資（データ・AI の利活用を含む）のさらなる後押し、それを源泉とした力強い賃上げの継続
 - ➡新しい資本主義がめざす経済社会の構築に向けたコーポレートガバナンス・企業開示など各種制度のあり方の再検証

■スタートアップ育成に向けた多面的かつ大規模な取り組みの展開

- ・大阪・関西万博の会場における「Global Startup EXP0 2025」の開催
 - ➡海外との継続的なネットワークキングの機会の創出
- ・スタートアップ・エコシステム拠点都市の形成
 - ➡海外からの資金・人の呼び込みを念頭に置いた各地域の特性に応じた取り組みへの重点的な予算措置を含む支援（地方創生の観点から）

■トランプ政権の政策への対応

- ➡米国内の薬価引き下げを意図した大統領令「最恵国待遇薬価政策」がもたらすわが国への影響への対応
(米国における薬価を最も低い国の価格に設定することを求めており、薬価設定が比較的低いわが国において、国内外の製薬会社における事業展開への影響が想定され、ドラッグロスの加速が懸念される)

その他、人への投資・多様な人材の活躍推進(リカレント教育やリ・スキリングによる能力向上支援および成長分野への労働移動の円滑化のさらなる展開など)、広域ブロックをベースとした分権・分散型社会に向けた取り組み、途上国の社会課題解決につながる企業活動に関する政府の一体的な把握・発信 など

以 上